

Mint Club



21
ミントクラブ

造幣局

ミントクラブ第21号の発刊にあたって

造幣局は、平成15年4月の独立行政法人化以降、皆様のご支援により順調な業績を挙げつつ5年目を迎えることができました。

これも偏に貨幣セット、金属工芸品をご購入いただいている皆様のおかげと感謝しております。

このミントクラブは、こうした皆様に、貨幣及び金属工芸品等に関する各種情報をお知らせする目的で平成14年2月以来季刊で発行しております。また、今号からは、紙面の一部光沢化等のリニューアルを行いました。今後とも、本誌をご愛読いただければ幸いです。

なお、造幣局では、独立行政法人化を期に、貨幣セットについては、時代や世代を超えて国民の間に流行しているキャラクターやスポーツをテーマとしたものの採用など、新しい発想による貨幣セットの開発に取り組んでおります。また、金属工芸品についても、ニーズに応じた高付加価値製品の実現や製品の多様化、高品質化を推進してまいります。

今後も皆様に喜んでいただける魅力あるより良い製品作りを目指してまいりますので、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

平成19年7月



造幣局理事長 西原篤夫

「日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念貨幣」並びに「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会記念貨幣」の発行決定

日本ブラジル交流年及び日本人ブラジル移住100周年記念貨幣

額面	5百円
素材	ニッケル黄銅
品位	銅72%、亜鉛20%、ニッケル8%
量目	7グラム
直径	26.5ミリメートル
その他の特徴	異形斜めギザ、潜像等
発行枚数	(今後政令で決定)
引換予定期	平成20年3月頃



2007年ユニバーサル技能五輪国際大会記念貨幣

額面	千円
素材	銀
品位	純銀
量目	31.1グラム
直径	40ミリメートル
彩色	水色、青色、紫色、赤色、オレンジ色、黄色及び黄緑色
その他の特徴	斜めギザ、潜像等
発行枚数	8万枚
販売予定期	平成19年10月頃
販売価格	6,000円



- この記念貨幣は、全国の金融機関等の窓口において、額面価格により引換えが行われます。
- この記念貨幣の引換要領については、今後、財務省から発表される予定です。
- この記念貨幣の発行枚数については、取扱い金融機関等の希望枚数を踏まえ、今後、政令で決定されます。

- この記念貨幣は、彩色を施したカラーコインです。
- この記念貨幣は、製造費用が額面価格を超えるもので、造幣局が製造費用を下回らない価格で販売するプレミアム型の記念貨幣です。
- この記念貨幣は、金融機関等の窓口における引換えは行われず、造幣局が貨幣セットとして販売を行います。
- 貨幣セットの販売要領については、今後、造幣局から発表いたします。

「造幣局IN松江」の開催について

造幣局では、多くの皆様に、造幣局の事業や貨幣・勲章等に対する理解を一層深めていただく一環として、平成11年以降、「造幣局IN」を全国各地で継続的に開催してきました。

今年は、7月26日(木)から8月1日(水)までの7日間、島根県松江市の「一畑百貨店松江店」で開催する予定です。

展示内容は、珍しい大判・小判などの古銭や造幣事業に関連した貴重な品々を展示するとともに、貨幣の製造工程や勲章等を实物や写真パネルにより解り易く紹介します。

また、当地での開催を記念した貨幣セットの販売も行う予定です。

お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

開催場所 一畑百貨店松江店5階
所在地 島根県松江市朝日町661番地
電話番号 0852-55-2500



造幣局INつくば(平成19年2月2日~7日 茨城県つくば市 西武百貨店筑波店)の風景



背景写真 松江城の桜

—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*—————*

● ● ● 平成19年7月~9月の貨幣セット販売予定 ● ● ●

販売区分	名 称	販売価格	受付開始時期
通信販売	2007年ユニバーサル技能五輪国際大会記念千円銀貨幣ブルーフセット	6,000円	受付開始時に、DMでお知らせします。
	スポーツをテーマとするブルーフセット	13,000円	
	敬老セット	2,000円	
通年販売	平成19年銘 ジャパンセット	1,900円	造幣局構内ミントショップ、オンラインショップで販売中。 電話でも受付中。 (06-6351-2626)
	平成19年銘 記念日セット	2,000円	
	平成19年銘 ペーパーウエイト	3,900円	

第18回東京国際コイン・コンヴェンション

東京国際コイン・コンヴェンション(TICC)は、貨幣を通してそれぞれの国の文化に対する理解を深めるとともに、国際文化交流の促進を図ることを目的に、日本貨幣商協同組合が主催し、世界の十数カ国の中から選ばれた造幣局が出展、国内外の多数の貨幣商等の参加により平成2年から毎年開催されており、日本造幣局は第1回から後援・出展しています。

今年のTICCは、5月2日(水)～4日(金)の3日間、ロイヤルパークホテル(東京都中央区日本橋)において開催され、造幣局からは、今年のテーマ“武田信玄と甲州金”に因んだ「甲州露一両金」、「甲州一分金」などの提供や、国際コイン・デザイン・コンペティションの最優秀賞・優秀賞の表彰式及び同受賞作品の電鋳板・メダルの展示を行うとともに、第18回東京国際コイン・コンヴェンション貨幣セット、金属工芸品等の販売を行いました。



第5回大阪コインショー

大阪コインショーは、日本の各時代の意匠や様式を反映した貨幣の展示により、貨幣の文化的価値に対する認識を国民各層に広く喚起させることを目的に、日本貨幣商協同組合が主催し、日本造幣局等が開催、国内の貨幣収集家団体等の参加により平成15年から毎年開催されており、日本造幣局は第1回から後援・出展しています。

今年の大阪コインショーは、6月22日(金)～24日(日)の3日間、大阪アメニティパーク(大阪市北区天満橋)において開催され、造幣局からは、今年のテーマ“徳川貨幣制度の確立～家康から家光～”に因んだ「金座絵巻」、「慶長大判」などの提供や、今秋以降発行される「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会記念千円銀貨幣」、「日本ブラジル交流年及び日本ブラジル移住100周年記念五百円ニッケル黄銅貨幣」のパネル展示、塩川前博物館による特別講演等を行うとともに、第5回大阪コインショー貨幣セット、金属工芸品等の販売を行いました。



※写真は、昨年の第4回大阪コインショーの風景

武田の軍師と甲州金

今回は、山梨中銀金融資料館長の中込力氏に、「武田の軍師と甲州金」について執筆していただきました。

NHK大河ドラマ「風林火山」が始まって、はや6ヶ月が経過しています。俳優内野聖陽さんが演じる主人公山本勘助を中心に、戦国ロマンが展開され、いよいよ佳境に入っています。甲斐の武将を主人公にした大河ドラマは、昭和63年(1988年)の「武田信玄」以来約20年ぶりです。この時は新田次郎の「武田信玄」が原作でしたが、今回は井上靖の『風林火山』が原作です。今年が井上靖生誕100年の節目にあたることから、今回で46作目となる大河ドラマのなかで、初めて彼の作品がドラマ化されました。

山本勘助の出自については、諸説(三河国牛窪もしくは駿河国山本村)があります。また、中国、九州、関東など各地の内政・軍政見聞の諸国遍歴を続け、その経験が謎に包まれていたことから、架空の人物ではないかとされてきました。ところが、昭和44年(1969年)に弘治3年(1557年)の「武田晴信書状」が発見され、この中に「山本菅助(勘助)」の名前が記されていました。これによって山本勘助が実在し、しかも武田家の有力家臣であることが明らかとなりました。

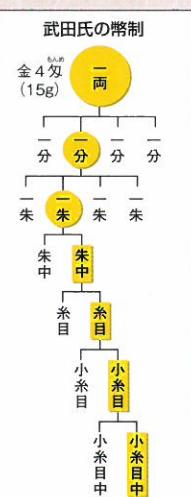
山本勘助が武田信玄に召し抱えられたのは、天文12年(1543年)、51歳の時でした。その後、武田信玄の知遇を受け、諸国遍歴で得た知識や経験を生かし、“啄木鳥(きつつき)の戦法”、“勘助郭(かんすくくるわ)”といわれる築城法など、卓越した才能と力量をいかんなく發揮しました。山本勘助は、天下取りの戦いのなかで、やがて“武田二十四将”的ひとりに数えられ、永禄4年(1561年)の川中島の合戦で討死するまで、「武田の軍師」として諸大名に恐れられました。

戦国大名にとって、領国拡大は軍事力とともに経済力の増強策でもありました。武田氏は、拡大した領内の阿部、金沢、黒川、湯之奥などの金山を開発し、採掘した金で「甲州金」を造り、軍費、恩賞などに用いました。

甲州金の始まりについては、なお不詳な部分が多く、当初は砂金や金塊の状態でした。次第に板金、碁石金、延金などへ変わっていきましたが、いずれも秤量貨幣でした。その後、信玄の時代に山下・志村・野中・松木の四家に鑄造の特権が与えられ、鑄造や秤量の技術の進歩に伴い、量目単位が確立し計数貨幣となりました。量目単位は、四進法(両・分・朱)に二進法(朱中・糸目・小糸目・小糸目中)を加えて体系化したものです。

この画期的な貨幣制度は、後に徳川家康が踏襲して江戸幕府幣制の母体としたことで知られています。また、甲州金は、江戸時代に入っても唯一の例外的な公認地方貨幣として、その鑄造・通用が認められました。

甲州金には次の二種類があり、このうち「古甲金」は元禄の改鑄(1695年)以前のものをいい、それ以降のものを「新甲金」といいます。古甲金の種類は100種以上で、現存するものは少ないものの、代表的なものに「露一両金」、「駒一両金」、「一分金」、「一朱金」、「朱中金」、「糸目金」があります。因みに、今もよく使われる“お金に糸目をつけない”(気前のよいこと)、“太鼓判を捺す”(絶対の保証を与えること)の慣用表現は、この古甲金の量目や形態に由来するとされています。



山梨中銀金融資料館
中込 力 館長

「古甲金」の代表的なもの



露一両金 駒一両金 一分金 一朱金 朱中金 糸目金

新甲金には、「甲安中金」、「甲安今吹金」、「甲重金」、「甲定金」の4種類があります。このうち、「甲安中金」は宝永4年(1707年)から、「甲安今吹金」は宝永8年から、一分・二朱・一朱の3種が鋳造されました。「甲重金」は享保6年(1721年)から、「甲定金」は享保12年(1727年)から、朱中を加えた4種が鋳造されました。

『新甲金「甲安中金(甲下安金)」』



一分 二朱 一朱

『新甲金「甲安今吹金(甲中安金)」』



一分(表) 一分(裏) 二朱 一朱

「甲定金」は、享保17年(1732年)まで鋳造されました。その後、天保(1830~1843年)・安政(1854~1860年)年間には、ますます退廃や国外流出が起り、甲州金はいつのまにか市中から姿を消すことになりました。しかし、日常取引や貸借などでの「甲金表示」はその後も使われ、ようやく、明治4年(1871年)の大蔵省令で呼称も禁止されました。

このように甲州金は、武田氏の時代から江戸時代を経て明治初頭まで、極めて特異な地方通貨として、長い間、甲州の人々に親しまれました。

〔参考文献〕・『図録日本の貨幣1』日本銀行調査局編 昭和47年

・『図録日本の貨幣3』 同 上 昭和49年

・『山梨県史 資料編13』 山梨県 平成16年

・『創業百年史』 山梨中央銀行 昭和56年

山梨中銀金融資料館

入館料：無料

開館日：日曜日～木曜日

(但し、祝日・12月29日～1月4日を除く)

開館時間：9時～16時(17時閉館)

交 通：JR中央線甲府駅(南口)から徒歩15分

所 在 地：〒400-0032

甲府市中央二丁目11番12号

TEL. (055)223-3090

FAX. (055)223-3091

ホームページ：<http://www.yamanashibank.co.jp/siryo.html>



表面

坂本龍馬肖像メダルの販売



裏面

[原寸大]

図柄はイメージ図で商品とは多少異なります。

坂本龍馬は、幕末の日本を動かし明治維新の礎を築いた人物の一人であり、日本人が好感を持っている歴史上の人物としても広く知られています。今年が、坂本龍馬の没後140年に当たることから、その功績を称えて、「坂本龍馬平成十九年銘プルーフ貨幣セット」の販売とともに、「坂本龍馬肖像メダル」の販売を行うこととしました。

メダルの表面は、坂本龍馬の肖像をレリーフ(浮き彫り)仕上げで表現し、裏面は、わが国初期の坂本龍馬の湿板写真の描画をフォトイメージ(写真描画)加工技術を極印(金型)に用いて再現しており、立体的な龍馬(表面)と写実的な龍馬(裏面)をご覧いただくことができます。

メダル仕様等

- ・材 質：純銀(造幣局品位証明刻印入り)
- ・直 径：60mm
- ・重 さ：約160g
- ・厚 さ：約5.5mm
- ・そ の 他：化粧ケース入り
- ・販売価格：21,000円(税・送料込み)
- ・販売予定数：3,000個(お申込み状況によっては、数量を変更する場合があります。)

申込要領

- ・申込 数：申込数の制限はありません。
- ・申込期限：平成19年7月20日(金)(消印有効)
- ・申込方法：同封の申込はがきでお申込みください。
- ・発送時期：製品は、平成19年8月上旬頃から順次発送いたします。



国際コイン・デザイン・コンペティション2006

THE INTERNATIONAL COIN DESIGN COMPETITION 2006

国際コイン・デザイン・コンペティション(ICDC)は、造幣局が、国内のみならず広く海外からもデザインを募ることにより、貨幣デザインの芸術性の向上を目指すために、1998年(平成10年)から毎年開催しているものです。

このメダルは、ICDC2006において最優秀賞に選ばれたロベルト・コトイッチ氏(ポーランド)の「国際極年2007-2008」をメダル化したもので、表面のデザインは、史上初の南極点到達に成功したアムンゼンの肖像です。



ICDCの審査風景



最優秀賞受賞者
ロベルト・コトイッチ氏
(ポーランド)

ICDC2006メダルの販売

表面



裏面

[原寸大]



図柄はイメージ図で商品とは多少異なります。

メダル仕様等

- ・材 質：純銀
- ・直 径：30mm
- ・重 さ：約13.5g
- ・仕 上：いぶし仕上
- ・販売価格：4,500円(税・送料込み)
- ・販売予定数：5,000個(お申込み状況によっては、数量を変更する場合があります。)

申込要領

- ・申込 数：申込数の制限はありません。
- ・申込期限：平成19年7月20日(金)(消印有効)
- ・申込方法：同封の申込はがきでお申込みください。
- ・発送時期：製品は、平成19年8月上旬頃から順次発送いたします。



発行所 独立行政法人 造幣局
〒530-0043 大阪市北区天満1丁目1番79号
造幣局ホームページ <http://www.mint.go.jp/>
編集兼発行 事業部販売事業課顧客サービス室
電話 06(6351)6928

平成19年7月2日発行(第21号)

このミントクラブはエコマーク商品に認定された再生紙を使用しています

Japan Mint